

# エコアクション21

## 2013年度環境活動レポート

2013年4月～2013年6月

2013年7月10日



# 1.環境方針

## 基本理念

集塵装置株式会社は、”製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

## 基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進していきます。

- 1 省エネ・省資源型装置の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

作成日 2013年 1月 1日  
改定日 2013年 8月15日  
集塵装置株式会社  
代表取締役社長 丸山宏樹

## 2.事業活動の概要

### (1)事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

代表取締役社長 丸山 宏樹

### (2)所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

### (3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 丸山 宏樹

エコアクション21担当者 総務部 石亀 政世 小林 千秋

連絡先 電話 03-3938-3711 FAX 03-3938-3716

### (4)事業内容

集塵装置、公害防止装置の設計・製造・据付・保守・開発・販売

建設業許可番号 東京都知事許可(特-22) 第29193号

東京都知事許可(般-22) 第29193号

古物商許可番号 東京都公安員会許可 第305591208074号

### (5)事業の規模

平成23年度売上高 6億円

従業員数 24名

資本金 70,000,000円

### 3.環境目標及び環境活動計画の内容

(1)環境負荷削減目標数値

項目	単位	基準年度		目 標			
		2011年度	2011年度	2013年度	2013年度	2014年度	2015年度
		2011/4~2012/3	2011/4~6	2013/4~6	2013/4~2014/3	2014/4~2015/3	2015/4~2016/3
二酸化炭素排出量 ※	kg-CO <sub>2</sub>	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 3.39%削減	基準年度実績に対し 1.59%削減	基準年度実績に対し 1.88%削減	基準年度実績に対し 2.17%削減
		85,863	17,303	16,717	84,500	84,250	84,000
電気使用量	kWh	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 7.12%削減	基準年度実績に対し 0.38%削減	基準年度実績に対し 1.69%削減	基準年度実績に対し 2.35%削減
		76,293	14,514	13,480	76,000	75,000	74,500
ガソリン使用量	ℓ	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 0.56%削減	基準年度実績に対し 1.79%削減	基準年度実績に対し 3.38%削減	基準年度実績に対し 4.96%削減
		15,783.3	3,429.2	3,410.0	15,500.0	15,250.0	15,000.0
軽油使用量	ℓ	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 4.39%削減	基準年度実績に対し 0.56%削減	基準年度実績に対し 2.19%削減	基準年度実績に対し 3.82%削減
		3,067.2	797.5	762.5	3,050.0	3,000.0	2,950.0
灯油使用量	ℓ	基準年度実績	基準年度実績	使用なし	基準年度実績に対し 0.19%削減	基準年度実績に対し 3.41%削減	基準年度実績に対し 6.63%削減
		1,553	0	0	1,550	1,500	1,450
ガス使用量 (都市ガス)	Nm <sup>3</sup>	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 2.46%増加	基準年度実績に対し 1.96%削減	基準年度実績に対し 5.42%削減	基準年度実績に対し 7.73%削減
		867	244	250	850	820	800
ガス使用量 (アセチレンガス)	kg	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 増加	基準年度実績に対し 0.46%削減	基準年度実績に対し 2.78%削減	基準年度実績に対し 5.09%削減
		21.6	0.0	5.0	21.5	21.0	20.5
総排水使用量	m <sup>3</sup>	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 2.88%削減	基準年度実績に対し 1.28%削減	基準年度実績に対し 3.11%削減	基準年度実績に対し 4.94%削減
		547	139	135	540	530	520
化学物質使用量	kg	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 2.32%削減	基準年度実績に対し 2.22%削減	基準年度実績に対し 4.39%削減	基準年度実績に対し 6.56%削減
		230.1	103.4	101.0	225.0	220.0	215.0
産業廃棄物排出量 (サイクル含)	t	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 3.23%削減	基準年度実績に対し 0.83%削減	基準年度実績に対し 2.89%削減	基準年度実績に対し 4.96%削減
		24.2	3.1	3.0	24.0	23.5	23.0
一般廃棄物排出量	t	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 0.00%削減	基準年度実績に対し 8.33%削減	基準年度実績に対し 16.67%削減	基準年度実績に対し 16.67%削減
		1.2	0.3	0.3	1.1	1.0	1.0
省エネ・省資源型装置 の開発・改良・提案・ 販売	件	データ無し	データ無し	-	-	-	-
				3	10	15	20
紙の使用量	枚	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績に対し 6.15%増加	基準年度実績に対し 1.43%削減	基準年度実績に対し 1.79%削減	基準年度実績に対し 2.86%削減
		140,000	32,500	34,500	138,000	137,500	136,000
グリーン購入	件	データ無し	データ無し	-	-	-	-
				調査	5	10	15

※2011年度(平成23年)電気事業者別二酸化炭素実排出係数 0.464(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

## (2)環境活動計画の内容

### 1.二酸化炭素排出量(電気)の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- 工場内水銀灯をLED電灯に変更する
- 全PCを離席時の省エネモードに設定
- 事務所棟玄関周辺のガラスに断熱フィルムを貼る

### 2.二酸化炭素排出量(ガソリン)の削減

- アイドリングストップを徹底する
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導
- 車両買換えに伴い、燃費効率車の検討・購入

### 3.二酸化炭素排出量(軽油)の削減

- アイドリングストップを徹底する(社内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導
- 車両買換えに伴い、燃費効率車の検討・購入

### 4.二酸化炭素排出量(灯油)の削減

- 昼間のストーブ使用を控える
- つけっぱなしにしない

### 5.ガス消費量(都市ガス)の削減

- 給湯器の使いっぱなしを控える
- 電気ポットにする

### 6.アセチレンガス消費量の削減

- 業務見直しによって、使用量削減に努力する

### 7.総排水量の削減

- 浴室改装による水量の抑制
- 5月～10月の使用をシャワーにする

### 8.化学物質使用量の削減

- 在庫の見直しによる購入量の抑制

### 9.産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量(端材等)の再々利用する
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分

#### 10.一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを依頼する
- 使用済みカップ麺容器を圧縮し、廃棄をおこなう
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分

#### 11.省エネ・省資源型装置の開発・改良・提案・販売

- 顧客提案書に環境提案を10件以上おこなう
- 今年度開発テーマ(未決定)をおこなう

#### 12.紙の使用量の削減

- コピーの複数枚印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- PCからの印刷時、複数枚の印刷は、両面印刷を用いる
- 顧客への説明書提出は、紙ではなくCD/DVDに切り替える

#### 13.グリーン購入の推進

- 一般購入品のグリーン購入への切り替えの調査と検討
- 業務用購入品のグリーン購入への切り替え調査と検討

## 4.環境負荷の実績及び環境活動取組評価

項目	単位	基準年度	試行期間目標	試行期間実績	評価	
		2011.4～2011.6	2013.4～2013.6	2013.4～2013.6		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	17,303	16,717	16,679	基準年度、目標ともにクリア出来た。今後も項目ごとに少しずつでも下回れるよう努力と工夫したい。	
内 訳	電気使用量	kWh	14,514	13,480	13,897	基準年度と比較すると、省エネ空調にしたので、改善されているが、工場稼働が増えたので、目標値より若干増加した。
	ガソリン使用量	ℓ	3,429.2	3,410.0	3,760.8	現場工事が増え、実車日数が増加したのが要因。遠方の場合に電車とレンタカーを併用を考えるいい機会としたい。
	軽油使用量	ℓ	797.5	762.5	447.3	基準年度より1台減ったので、実績に差が出た。7月に1台増となるが、年間目標はクリアしたい。
	灯油使用量	ℓ	0	0	0	この三ヶ月は、灯油を一切使用していない。
	ガス使用量 (都市ガス)	Nm <sup>3</sup>	244	250	143	工場人員が基準年度より減少し、風呂を沸かす回数が減ったのが要因。
	ガス使用量 (アセチレンガス)	kg	0.0	5.0	7.2	工場での溶接作業が増加し、目標を上回った。適正な使用を継続していく。
総排水使用量	m <sup>3</sup>	139	135	129	風呂の利用回数が減少し、シャワーが主流となったため。	
化学物質使用量	kg	103.4	101.0	54.2	25年3月末に棚卸をおこない、この三ヶ月は購入が減少し、目標値を下回ることが出来た。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	3.1	3.0	6.1	工場での製作が多く、リサイクルする鉄くずが多く発生した。なるべく端材を出さない工夫を検討する。	
一般廃棄物排出量	t	0.3	0.3	0.3	課題のカップめん容器の排出量削減に努めていきたい。	
省エネ・省資源型装置 の開発・改良・提案・販売	件	データ無し	3	3	目標通りに達成できた。顧客にもわかりやすく、社内説明に使えるとコメントがあった。	
紙の使用量	枚	32,500	34,500	38,000	未達となったが、両面印刷と取扱説明書のDVD化を皆で徹底していきたい。	
グリーン購入	件	データ無し	調査	調査	今後も品質、価格に対応できるものを購入する検討を進めていく。コピー機(リース品)はリサイクル品を導入した。	

## 5.2013年度(2013/7月～2014/3月)の取組み内容

前項(第3項(2))1～13の取組みを継続する。

## 6.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。  
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)

(2)関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。

(3)訴訟も、過去3年間ありません。

## 7.代表者による全体評価と見直しの結果

平成25年(2013年)4月から環境活動を開始しました。

今年度は、2011年度(2011年4月～2012年3月)を基準とし、計画に基づき取り組んでおりますが、試行期間(2013年4月～6月)中の実績では、特にガソリン使用量と紙の使用量について、目標達成には一層の努力と工夫が必要であると感じております。

今後、電力使用量は、業務との兼ね合いもあり、多忙であれば使用量増加になるので悩ましいところです。

定期的に社内ミーティングをおこない、皆の意見やアイデアを取り入れ、一層のレベルアップを期したいと思います。